

# 広告掲載

---

プログラム集

大会ホームページバナー

募集ご案内

## ご挨拶

社会の複雑化・少子高齢化の背景のもとで、自閉症・注意欠乏多動症候群などの発達障害やパーキンソン病、認知症などの神経変性疾患、統合失調症やうつ病などの精神疾患などが増加の一途をたどっています。そのため健やかな脳を育成し、精神・神経疾患の予防・治療法を開発し、失われた身体機能の回復・補完を可能とする技術開発をもたらす研究分野として、神経科学研究に対する社会からの要請と期待が近年ますます高まっています。

1990年代に米国や日本ではさまざまな戦略的脳科学研究が行われましたが、研究成果が必ずしも人の健康や産業発展に結びつかないという批判が相次ぎました。2000年代に入るとその反動から、国際的に製薬や臨床応用などのいわゆる「出口」につながるような研究に研究費を重点的に配分する動きが続きました。出口志向の研究は、短期的な結果がみえやすいため、予算が獲得しやすく政治家にも好まれます。しかし、このような研究のみでは新しい発見は決して得られないことが再びこの10年間で再認識されてきました。結果がすぐに出なくても基礎科学への長期的な投資が必須であり、新しい発見は基礎科学なしには語れないと痛切な反省がなされています(Nature Neuroscience誌2013年8月号論説)。基礎医学と臨床医学が密接に連携をとって常に「出口」へ繋がる努力は続けながらも、基礎医学研究を極めていくことが必須と考える次第です。

神経科学の最大の特徴は、カバーすべき領域が生命科学・医学の中でも極めて広範であることにあります。本大会でも分子生物学・生理学・薬理学・心理学・解剖学などの生命科学・基礎医学の研究者や精神科・リハビリテーション・脳外科・神経内科などの臨床医学分野の研究者が広く集まります。各領域の研究者間の密接な連携を進め、同時に幅広い視野をもつ次世代の神経科学者を育成することが本大会の最大のミッションと考えています。このために専門分野を越えた教育講演やシンポジウムの企画に加えて臨床系学会との連携等にも力を入れています。また若手・女性研究者の参加を積極的に推進するための工夫もしてあります。最後に、旅費補助制度や共同シンポジウムを通して欧米や近隣アジア諸国の関連学会との国際交流も積極的に進めます。本大会が、性別・年齢層・専門分野・国籍の異なる神経科学者の交流を推進することによって、「Back to Basics for Future Neuroscience」をキーワードとして、神経科学研究を極め、更には人々の幸福をもたらす未来の神経科学へと繋がっていくことを念願しています。

本来であれば本大会の開催につきましては、会員からの参加費でまかなうべきところですが、開催の目的を達成するには会場の設営や学会の運営に多大な費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本大会の開催意義と事情をご賢察の上、格別のご協力、ご視点を賜りたくお願い申し上げます。

第 38 回日本神経科学大会

大会長 柚崎 通介

慶應義塾大学医学部 教授

## ■開催概要

○名称 和文名 第38回日本神経科学学会大会  
英文名 The 38th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society

○大会テーマ 神経科学を極める  
Back to Basics for Future Neuroscience

○会期 2015年(平成27年)7月28日(火)～31日(金)

○会場 神戸国際会議場、神戸国際展示場1号館、2号館

### ○開催の目的と意義

本大会では、神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者を招聘し、基礎から臨床に及ぶ幅広い分野の神経科学研究者の研究発表や情報交換の場を提供し、性別・年齢層・専門分野・国籍の異なる研究者間の交流を積極的に推進することを目的とする。「Back to Basics for Future Neuroscience」をキーワードとして神経科学研究を極め、人々に幸福をもたらす未来の神経科学の発展へ繋げていく。

### ○開催計画の概要

- ・プレナリーレクチャー
- ・特別教育講演
- ・シンポジウム
- ・受賞記念講演
- ・一般口演・ポスター発表
- ・ランチョンセミナー
- ・機器 試薬 書籍 等展示会

○予定参加者数 3,500名

## ○大会組織

大会長 柚崎 通介 (慶應義塾大学医学部)  
実行委員長 平井 宏和 (群馬大学大学院医学系研究科)  
副実行委員長 幸田 和久 (慶應義塾大学医学部)

### 実行委員

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部)  
上口 裕之 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
鈴木 則宏 (慶應義塾大学医学部)  
高橋 孝雄 (慶應義塾大学医学部)  
仲嶋 一範 (慶應義塾大学医学部)  
三村 将 (慶應義塾大学医学部)  
安井 正人 (慶應義塾大学医学部)  
吉田 一成 (慶應義塾大学医学部)  
里宇 明元 (慶應義塾大学医学部)

組織委員長 安西 祐一郎(日本学術振興会)

### 組織委員

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部)  
金澤 一郎 (国際医療福祉大学院 東京事務所)  
高坂 新一 (国立精神・神経医療研究センター)  
津本 忠治 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
中西 重忠 (大阪バイオサイエンス研究所)  
西川 徹 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
樋口 輝彦 (国立精神・神経医療研究センター)  
廣川 信隆 (東京大学大学院医学系研究科)  
御子柴 克彦(理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター病院)  
宮下 保司 (東京大学大学院医学系研究科)

プログラム委員長 岡部 繁男 (東京大学大学院医学系研究科)

### プログラム委員

赤澤 智宏 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)  
池谷 裕二 (東京大学大学院薬学系研究科)  
磯村 宜和 (玉川大学 脳科学研究所)  
井ノ口 馨 (富山大学大学院医学薬学研究部)  
入來 篤史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科)  
大塚 稔久 (山梨大学医学部)  
岡澤 均 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所/脳統合機能研究センター)  
岡戸 晴生 (東京都医学総合研究所 脳発達・神経再生分野)  
岡野 ジェイムス 洋尚(東京慈恵会医科大学 再生医学研究部)  
岡ノ谷 一夫 (東京大学教養学部)  
尾仲 達史 (自治医科大学医学部)  
加藤 忠史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
上口 裕之 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)

喜田 聡 (東京農業大学応用生物科学部)  
北澤 茂 (大阪大学大学院生命機能研究科)  
國吉 康夫 (東京大学大学院)  
功刀 浩 (国立精神・神経医療研究センター)  
久場 博司 (名古屋大学大学院医学研究科)  
小泉 修一 (山梨大学医学部)  
小泉 英明 (株式会社 日立製作所)  
合田 裕紀子 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
五嶋 良郎 (横浜市立大学大学院医学研究科)  
後藤 由季子 (東京大学大学院薬学系研究科)  
小早川 令子 (大阪バイオサイエンス研究所)  
齋藤 康彦 (群馬大学大学院医学系研究科)  
西道 隆臣 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
坂井 克之 (玉川大学 脳科学研究所)  
酒井 邦嘉 (東京大学大学院総合文化研究科)  
櫻井 武 (金沢大学大学院医薬保健研究域医学系)  
佐々木 努 (群馬大学 生体調節研究所)  
佐藤 悠 (山梨大学 応用生命化学専攻)  
鮫島 和行 (玉川大学 脳科学研究所)  
澤本 和延 (名古屋市立大学大学院医学研究科)  
澁木 克栄 (新潟大学 脳研究所)  
下郡 智美 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
鈴木 匡子 (山形大学大学院医学系研究科)  
泰羅 雅登 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
高橋 琢哉 (横浜市立大学大学院医学研究科)  
高橋 智幸 (同志社大学脳科学研究科)  
谷藤 学 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
辻 省次 (東京大学大学院医学系研究科)  
坪井 昭夫 (奈良県立大学 先端医学研究機構)  
東原 和成 (東京大学大学院農学生命科学研究科)  
仲嶋 一範 (慶應義塾大学医学部)  
畑 裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
馬場 広子 (東京薬科大学薬学部)  
平井 宏和 (群馬大学大学院医学系研究科)  
平田 たつみ (国立遺伝学研究所 脳機能研究部門)  
深井 朋樹 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
真鍋 俊也 (東京大学医科学研究所 基礎医科学部門)  
三浦 正幸 (東京大学大学院薬学系研究科)  
三村 将 (慶應義塾大学医学部)  
宮田 麻理子 (東京女子医科大学医学部)  
虫明 元 (東北大学大学院医学系研究科)  
森 郁恵 (名古屋大学大学院理学研究科)  
安井 正人 (慶應義塾大学医学部)  
柳川 右千夫 (群馬大学大学院医学系研究科)  
吉本 潤一郎 (沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット)  
和田 圭司 (国立精神・神経医療研究センター)  
渡辺 雅彦 (北海道大学大学院医学研究科)  
渡部 文子 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター)

○収支予算案 (2014年7月1日現在)

収入の部		
項目	金額	備考
1. 参加費	34,010,000 円	早期登録 会員 1,000 名×15,000 円 非会員 30 名×20,000 円 学生会員 500 名×1,000 円 学生非会員 20 名×3,000 円  後期登録 会員 400 名×17,000 円 非会員 100 名×22,000 円 学生会員 100 名×2,000 円 学生非会員 100 名×4,000 円  当日登録 会員 200 名×19,000 円 非会員 150 名×24,000 円 学生会員 100 名×3,000 円 学生非会員 50 名×5,000 円
2. セミナー共催費	9,828,000 円	7 件
3. 企業展示出展料	17,539,200 円	100 小間：書籍コーナー20 小間を含む
4. 広告収入：HP パナー広告	2,405,600 円	
広告収入：プログラム集広告	3,100,000 円	17 頁
5. 寄付金	12,000,000 円	
合計	78,882,800 円	

支出の部		
項目	金額	備考
1. 会議準備費	<u>18,389,450 円</u>	
1) 人件費	5,322,000 円	
2) IT 制作費	5,727,950 円	HP・演題・参加登録システム含む
3) 印刷・製作費	6,321,310 円	翻訳費用を含む
4) 通信・運搬費	818,190 円	
5) 消耗品・雑費	200,000 円	
2. 会議当日費	<u>54,012,250 円</u>	
1) 人件費	4,981,916 円	
2) 会議費	7,495,440 円	市民公開講座開催費を含む
3) 会場費	21,720,624 円	
4) 機材・備品費	5,883,900 円	
5) 看板装飾費	1,421,200 円	
6) 展示関係費	5,559,400 円	
7) 招聘費	6,949,770 円	
3. 事後処理費	<u>2,056,520 円</u>	
4. 予備費	<u>4,424,580 円</u>	
合計	78,882,800 円	

## ■プログラム集広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : 第 38 回日本神経科学大会 / Neuroscience2015 プログラム集
2. 広告媒体版型・印刷方法等  
: A4 判(天地 297mm×左右 210mm)、400 ページ想定  
印刷: オフセット印刷 表紙 4C/本文 1C、製本: 無線綴じ
3. 発行部数 : 3,000 部
4. 配布対象 : 大会参加者
5. プログラム集発行予算: 4,620,000 円
5. 広告掲載費 : 後付掲載面の割付は主催者に一任いただきます。

掲載面	スペース	印刷色数	掲載費	募集予定数
表 4(裏表紙)	A4 1 ページ	カラー(4 色印刷)	500,000 円	1 枠
表 2(表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒(1 色印刷)	250,000 円	1 枠
表 3(裏表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒(1 色印刷)	250,000 円	1 枠
後付 1 ページ	A4 1 ページ	白黒(1 色印刷)	150,000 円	10 枠程度
後付 1/2 ページ	A4 1/2 ページ	白黒(1 色印刷)	80,000 円	10 枠程度

※掲載料金に消費税は含まれておりません。

6. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail または FAX でお送りください。
7. 申込締切日 : 2015 年 3 月 30 日(月)
8. 原稿締切日 : 2015 年 4 月 15 日(水)
9. 広告サイズ : 1 ページ 天地 255 mm×左右 180 mm  
1/2 ページ 天地 120 mm×左右 180 mm  
ブリード版(断ち落とし)の広告はカラー、白黒共にできません。
10. 入稿形態 : 完全データ入稿 …… 白黒、カラー(校正紙や出力見本を添付してください)  
●データ入稿形式 :  
① Adobe illustrator - FONT は全てアウトライン化、画像は埋込をしてください。使用した OS と illustrator のバージョンをご明記ください。入稿後は添付いただく校正紙との比較確認を印刷担当会社が行いますので、色校正は提出いたしません。予めご了承ください。  
② PDF FILE 入稿の場合、FONT は全てアウトライン化、画像は埋込された FILE 入稿でお願いします。MS-Word、MS-PowerPoint を利用しての PDF 保存の場合は必ず使用ソフトを明記してください。データをお受けできない場合もございます。ご了承ください。
11. 入稿方法 : 入稿データは、CD-ROM に保存しお送りください。使用後は事務局で破棄させていただきますのでご了承ください。
12. 広告掲載費のご請求について : 広告掲載費のご請求はプログラム集が発行後に、広告掲載誌と同時期に発送いたしますので、広告掲載費はご請求後 1 ヶ月以内にお振込みいただけますようお願いいたします。
13. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。
14. 申込先 : 第 38 回日本神経科学学会大会展示会事務局(株式会社エー・イー企画内)  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4 階  
TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479 e-mail: e\_staff@neuroscience2015.jnss.org

## ■大会ホームページバナー広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : 第 38 回日本神経科学大会 / Neuroscience2015 大会ホームページ
2. 広告媒体形態 : バナー広告
3. 大会ホームページ : [http:// www.neuroscience2015.jp](http://www.neuroscience2015.jp)  
2014 年 8 月 OPEN
4. 募集予定数 : 10 枠 程度
5. 表示方法 : ランダム表示 - ホームページ訪問時の click タイミング表示です。
6. 広告掲載料金 : 200,000 円(消費税別)/1 枠
7. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail または FAX でお送りください。
8. 掲載期間 : 2014 年 9 月から随時受付。会期後 1 か月後までの掲載を保証。
9. 掲載サイズ : 天地 80 pixels × 左右 280 pixels
10. 入稿形態 : ①保存形式 - GIF(アニメーション GIF、無限ループ可)、JPEG  
②保存容量 - 50Kbyte 以内  
③掲載データの変更はできません。ご了承ください。
11. 入稿方法 : 上記掲載サイズで制作し、保存形式を順守し、リンク先 URL と共に入稿してください。  
バナーデータ入稿後、7 営業日以内にバナー広告を掲載します。入稿データは、CD-ROM に保存しお送りください。使用後は事務局で破棄させていただきますのでご了承ください。
12. 広告掲載費のご請求について : 広告掲載費のご請求は、バナーデータ掲載後にご請求いたします。ご請求後 1 ヶ月以内にお振込みいただけますようお願いいたします。
13. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。
14. 申込先 : 第 38 回日本神経科学大会展示会事務局(株式会社エー・イー企画内)  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4 階  
TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479 e-mail: [e\\_staff@neuroscience2015.jnss.org](mailto:e_staff@neuroscience2015.jnss.org)

### ※大会ホームページ予定イメージ





# 第 38 回日本神経科学大会 / Neuroscience2015

## 広告関係 申込書

申込締切日:2015 年 3 月 30 日

申込日: 年 月 日

申込社 <small>日本語、英語を両方ご記入ください</small>	JPN	
	ENG	
所在地	(〒            ) 住所	
ご担当者	氏名	TEL
	所属部署	FAX
	E-mail アドレス: <small>※申込後にご連絡いたしますので必ずご記入ください。</small>	

### 1.お申込み

- プログラム集広告に申し込みます 掲載面: \_\_\_\_\_ 金額 \_\_\_\_\_ 円(消費税別)
- 大会ホームページ バナー広告に申し込みます 金額 \_\_\_\_\_ 円(消費税別)

通信欄 ※お問い合わせがございましたらご記入ください。

---

●お問合せ申込書送付先 : 第 38 回日本神経科学学会大会展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内)

FAX. 03-3230-2479 / TEL. 03-3230-2744 E-mail(専用) e\_staff@neuroscience2015.jnss.org